

訂正箇所：4. 防災関連事項 [量的予報等]の北陸地方の降雪量を40cmから50cmに修正。

1. 実況上の着目点

- ① 千島の東には500hPa 5100m以下の寒冷渦があって北東進。また、寒冷渦の直下には、対応する地上の低気圧があって東進。
- ② 日本海西部～東日本日本海側には地上のシアーラインがのびており、シアーライン周辺では大気の状態が不安定となっている。西～東日本日本海側では1時間におよそ10mmの雨量を解析、雷を検知。
- ③ 北日本では、①の低気圧と大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、強い風が吹いて、波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 11日は、1項②の地上のシアーラインは、12日にかけて日本海を南西進する。シアーライン周辺では雨となり、大気の状態が不安定となる。北陸地方の平地では、これまでの雨により土砂災害の危険度が高くなっている所があるため、11日は土砂災害に警戒。東～西日本日本海側では、12日にかけて落雷や突風、降ひょうに注意。
- ② 500hPa 5100～5160mのトラフに対応した低気圧が、11日夜までに千島近海で発生し、12日にかけて、西高東低の気圧配置が強まる。東日本日本海側には850hPa -9℃以下の寒気が流入して大気の状態が不安定となり、北日本と東日本日本海側の山沿いでは、大雪となる所がある。12日にかけて、北日本と東日本日本海側の山沿いでは、大雪による交通障害、風雪、着雪、なだれに注意。また、北日本と東日本日本海側、伊豆諸島では、12日にかけて落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ③ 2項②の西高東低の気圧配置により、12日にかけて全国的に気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くしけとなる所がある。北～西日本では12日にかけて、南西諸島では12日は、強風や高波に注意。
- ④ 13日は500hPa 5340～5460mのトラフが渤海付近に進み、対応して13日朝までに日本海と日本の南に低気圧が発生する。13日夜には、日本海の低気圧は東日本日本海側へ進み、日本の南の低気圧は、前線を伴いながら関東の東に進む。低気圧や前線の周辺では気圧の傾きが大きく、大気の状態が不安定となる。東～西日本では、13日は落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、強風や高波に注意。北陸地方では、土砂災害に注意・警戒。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報等]
- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 降雪量(06時からの24時間)：北陸50、北海道・東北40cm。
 - ③ 波浪(明日まで)：北海道・東北4、北陸・伊豆諸島・近畿・中国・九州北部・沖縄3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。